

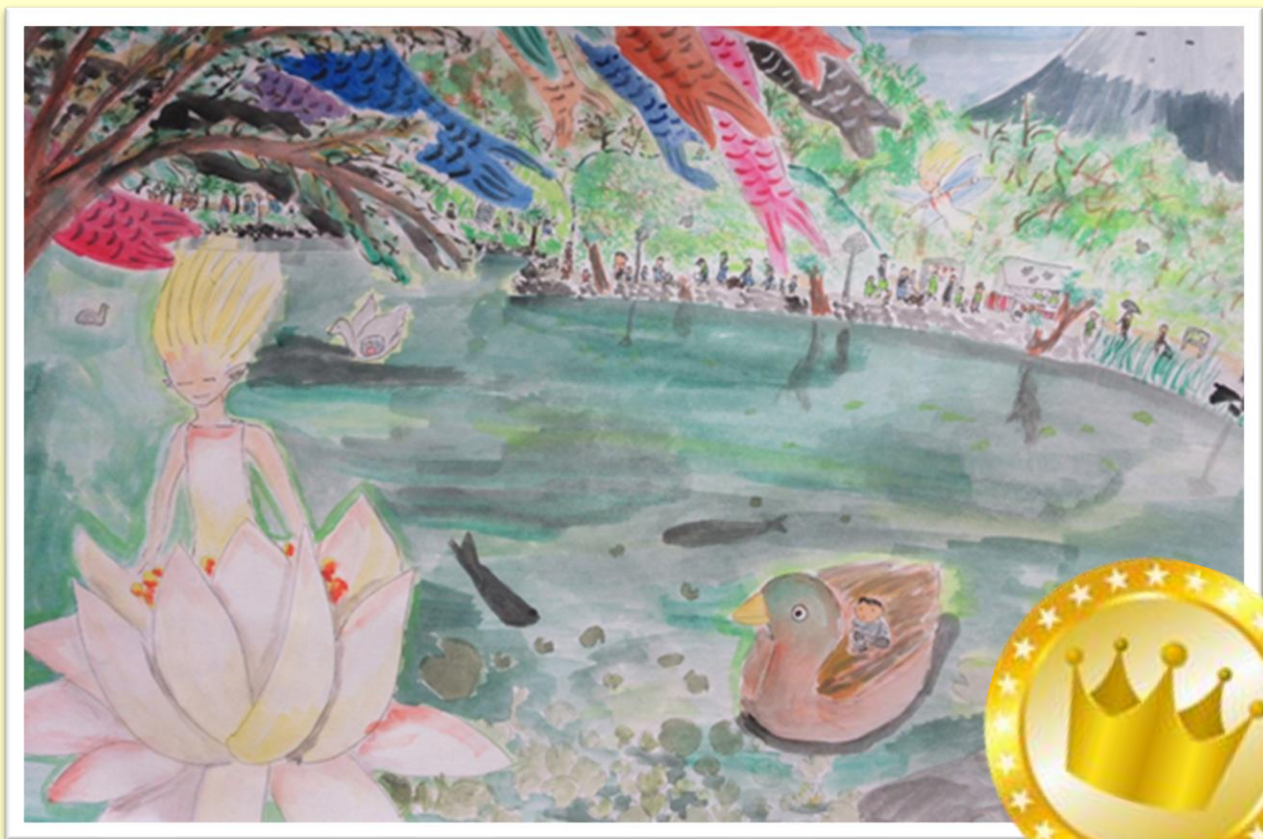
地域で育てる子ども会

市子連だより

NO.32
令和7年3月



～令和6年度 藤枝市子ども会世話人連絡会 活動報告～



市長賞

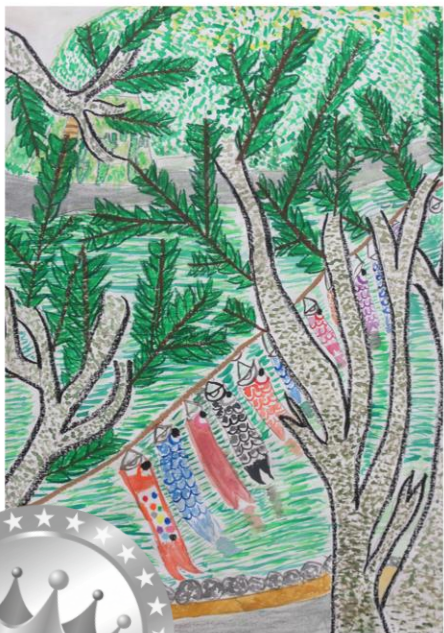
「ドコカフシギナレンゲジイケ」
横山 芙雪（岡部小6年・山東子ども会）



藤まつりでにぎわう蓮華寺池公園
で恒例の藤枝市子連主催の親子写生
大会を開催しました。



親子写生大会



令和6年4月29日（祝・月）に蓮華寺池公園で親子写生大会を開催しました。

これは、家族で楽しく絵を描くことで、美術への興味・関心や家族のつながりを深め、子どもの健全な育成につなげることを目的に毎年4月29日の「昭和の日」に行っています。

当日は市内子ども会から多くの家族連れが参加し、計205作品が集まりました。

参加者は、こいのぼりやとんがりぼう、新緑にあふれた公園のおだやかな風景など思い思いに初夏のふじえだを家族で描き、楽しい時間を過ごしました。

教育長賞

「やっほー！こいのぼり」
勝又 朱楓（高洲南小4年
・白ゆり子ども会）



写生大会での様子



表彰式

令和6年7月25日（木）生涯学習センターで、親子写生大会特別賞の表彰式を行いました。表彰式には、市長賞（表紙）を受賞した横山 芙雪さん（岡部小6年）たちが出席し、会場から盛大な拍手が送られました。





校長会会長賞



「風に乗っておよぐこいのぼり」片山 裕翔
(青島小4年・青葉南子ども会)



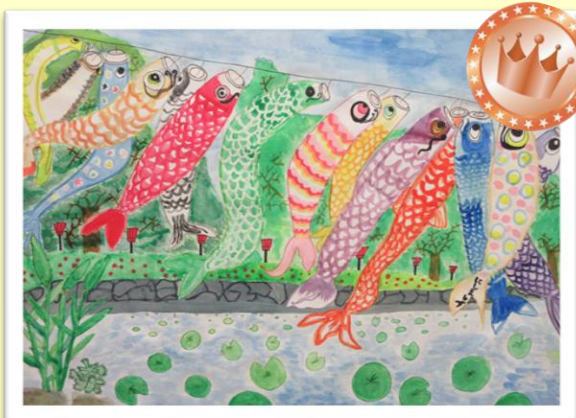
「こいのぼり」山崎 心晴
(青島小1年・駅前喜多町子ども会)



「こいのぼりと少女」大石 はなり
(藤枝小5年・千歳子ども会)



「みんなのこいのぼり」海野 りり香
(青島東小2年・東町子ども会)



「およげこいのぼり」山本 悠乃
(青島東小6年・三区子ども会)



「公園の入口」平野 明花
(岡部小3年・本郷子ども会)

子ども会フェスティバル

令和6年10月20日（日）生涯学習センターで子ども会フェスティバルを開催しました。当日は親子約900人以上が来場し、各コーナーをまわって楽しみました。

また鬼岩寺で同日開催された沖縄フェアから沖縄伝統芸能の獅子舞「エイサー」が飛び入り参加したため、子どもたちはみんなびっくり！ たくさんの方のご協力により、フェスティバルは大盛況でした。ありがとうございました！

体験コーナー



親子陶芸体験



親子お菓子体験



エイサーが飛び入り参加！



ボール遊び

大きなバルーンが
子どもたちをお出
迎え！



パンチングバルーン

プラバン



小物づくり



ビーズづくり

チャレンジコーナー



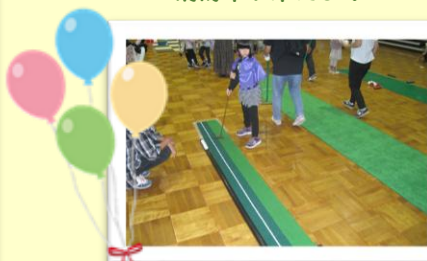
積木あそび



救急・救命体験



消防車が来たよ！



パットゴルフ

子ども会活動発表会

令和7年1月19日（日）生涯学習センターで子ども会活動発表会を開催しました。これは市内17小学校のなかから毎年5校がモデル校となり、一年間の子ども会活動の発表を行うものです。令和6年度は藤枝小、葉梨西北小、西益津小、朝比奈第一小、大洲小の子ども会が発表しました。

益津・長楽寺・岡出山子ども会（藤枝小） 自然の恵みから食のありがたさを学ぶ

失われつつある伝統漁法の地引網の体験を通して、みんなで力を合わせて海の恵み（魚）を得る楽しみを知り、実際に獲れた魚を調理することで、魚に関する知識や命の大切さを学びました。



葉梨西北小学校区子ども会 （葉梨西北小） お茶摘み体験・荒茶製造工程見学

藤枝市の主要生産品の一つであるお茶について、地元生産農家の協力のもとお茶摘み体験と、摘み取った生葉がお茶になり流通するまでの一連の流れを学びました。

たいへん
よくできました！



平島第2子ども会（西益津小） 親子で楽しく防災クッキング

災害時の食事は心と体の健康維持のためにとても重要であること、身近な道具や食材で非常時でも簡単においしい食事が調理できることを知り、災害に対する心構えの大切さを学びました。

たいへん
よくできました！





朝比奈小学校子ども会（朝比奈第一小） 熱気球体験教室

開校150周年記念事業の一環として熱気球を体験しました。普段見ることのない高さから眺める校舎や自然豊かなふるさとの景色にワクワクドキドキ。熱気球搭乗という非日常体験から新しいことへチャレンジすることの楽しさと、ふるさと朝比奈の豊かな自然を改めて知りました。



たいへん
よくできました！



静岡県
子ども会連合会
会長賞

令和6年度静岡県子ども会連合会主催活動に参加した多数の子どもたちが、体験記作文コンクールに応募しました。その中から、大洲小学校6年生の高野 悠道さん（泉町子ども会）が静岡県子ども会連合会会長賞に選ばれましたので紹介します。

ぼくは消防団の方にAEDの使い方を教えてもらいました。AEDは知っていたけれど、使い方は」知らなかったので興味がありました。

最初にAEDについての話を聞きました。その中で印象に残った話が二つあります。一つ目はAEDは心臓を動かす機会ではなく、けいれんを止めて心臓の動きをリセットさせるための機械だということです。ぼくも心臓を動かすためと思っていたので逆に止めるための機械だったなんてこれを知っている人は少ないだろうからみんなにも教えようと思いました。二つ目は毎年8万人の人の心臓が止まっている、そのうちAEDを使ったのが千人ほどしかいないということです。隊員の方のもっと多くの人がAEDを使えたらもっと多くの命を救うことができる。だから活動をしている。という思いを聞いて僕の気



泉町子ども会（大洲小） 熱中症予防とAED体験

熱中症のメカニズムと注意点、熱中症にならないための予防方法を地域の消防団員から学びました。心臓マッサージとAEDを実際に体験し、心肺蘇生法の一連の流れを知りました。



たいへん
よくできました！

持ちはより真剣になりました。そして、人形を使ったAEDの使い方を教わりました。最初に隊員の方にお手本を見せてもらったときはスムーズにできていて難しそうには見えなかったけど実際に自分でやったら順番がわからなくなったり、確認することが多くて難しかったです。心臓マッサージは意外と力を使って救急車が来るまで続けないといけないと考えるととても大変だと感じました。

今回の体験から、もしも自分の前で人が倒れていたらとても焦ってしまうと思うのでなるべく焦らないようにまず周りの人に声をかけて、すばやくこの体験を思い出して一分でも早く救助したいと思いました。とても貴重な体験ができたから参加して良かったです。



子ども会議



令和6年8月10日（土）第3回子ども会議を開催しました。

1年生から6年生の計13人が参加した会議では、ファシリテーター（教育実習生達）とともに、子ども会のイメージやこれからの子ども会に望むこと、そして未来の藤枝市に対する夢や希望を子どもらしい視点から意見を交換し合いました。



～原点回帰～

藤枝市子ども会世話人連絡会 会長 村田 政之



令和7年1月19日に行われた子ども会活動発表会をもって令和6年度の主要事業が無事終了しました。予定行事が全て開催できたことは、ひとえに市子連理事、協力員、世話人の皆様方が、準備から片付けまで一生懸命尽力された賜物であり、また講師として快くご協力いただきました方々のおかげです。心より感謝を申し上げますとともに、皆様方の英知を誇らしく思っております。

今年度の活動では、子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。特に子ども会フェスティバルは、大勢の方が来場されたことで猫の手も借りたいほどの忙しさとなりましたが、子どもたちの笑顔に癒され、皆様方の頑張る姿に疲れも吹き飛び、最後の片付けまでやりきることができました。

さて、近年はデジタル化の急速な進化とともに、人と人との“繋がり”の希薄化が課題となっています。大規模災害に遭われた被災地の方々が、テレビのインタビューで「普段

から近隣の方々や地域との“繋がり”を大事にすべき」と話していました。私も会長に就任して以来、一貫してコミュニケーションの大切さを子どもたちに伝えてきたところであります。

子ども会は異年齢集団であり、その活動を通して社会における基本的な協調性や社会性を学んでいく場となります。会長として、子どもたちにはコミュニケーションの大切さを改めて伝えていくとともに、子どもたちの達成感や満足度の高い活動を目指していきますので、保護者の皆様方におかれましては、引き続き温かなご支援をいただけますと幸いです。



令和6年度藤枝市子ども会世話人連絡会理事の皆さん



一年間 ありがとう
ございました！



～未来をたくましく生きる人の育成のために～

藤枝市子ども会世話人連絡会 副会長 本杉 速人
(大洲小学校 校長)



春色の候、市子連理事や世話人の皆様方をはじめ、子ども会に関わってくださった多くの方々におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。今年度も子ども会活動にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

時代の流れは早く、子どもたちを取り巻く社会環境も急速に変化しており、甚大な自然災害や思いもよらぬ感染症、そして経済の低迷等予測困難な時代となっています。しかし子どもたちは、その目まぐるしく変化する現代、そして未来をたくましく生き抜いていかねばなりません。大切なことは「協力・協働」です。個の力だけではなく、仲間と協力して様々な困難を乗り越えていく経験が必要であり、その過程で重要となるのが、子どもたちを支える「家庭」や「地域」、そして「子ども会」の存在です。

今年度の主な事業として、親子写生大会、子ども会フェスティバル、子ども会活動発表会を行いました。この事業を通して親子でのふれあいや他校の友だちとの関わり、そして地域や専門家の協力による貴重な経験が実現

しました。SNSでの繋がりが多くを占める今、直接人と関わりを持ち、協力して取り組む経験のできる子ども会活動が今後も続くことを切に願っています。

このような時勢だからこそ家庭や地域との繋がりを大切にするため子ども会は「縦のネットワーク」を、理事や世話人の皆様方は地域の方との連携を取るための「横のネットワーク」を構築し、地域ぐるみで子どもたちの健全育成を推進していただけると幸いです。また、子どもたちには異年齢が集まる子ども会活動を通して、地域社会で生きていること、地域に守られていることを感じてほしいです。

情報が溢れ、生きることの手ごたえを感じにくい今だからこそ、遊びや体験によって地域の一員として貢献することの大切さや、将来に役立つ経験を学べる環境づくりが私たち大人に課せられた使命だと思います。

夢に向かって大きく羽ばたき、たくましく生きる子どもたちの未来のために、これからも笑顔あふれる活動へのご協力をお願い申し上げます。

